平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名　福島工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6420　URL　http://www.fukusima.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福島　裕
問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部　部長　(氏名) 日野　達雄　TEL 06-6477-2011

四半期報告書提出予定日　平成24年11月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,327	16.5	2,358	60.0	2,417	59.5	1,478	83.0
24年3月期第2四半期	20,027	21.2	1,474	32.1	1,515	35.9	807	47.2

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　1,444百万円　(67.1%)　24年3月期第2四半期　864百万円　(100.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	139.58	―
24年3月期第2四半期	76.26	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	39,402	22,526	56.9	2,116.99
24年3月期	37,102	21,367	57.3	2,007.32

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　22,426百万円　24年3月期　21,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	27.00	27.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
(注)24年3月期期末配当金の内訳　普通配当　25円00銭　記念配当　2円00銭

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,656	7.8	3,699	28.9	3,765	19.9	2,298	32.6	217.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,033,080 株	24年3月期	11,033,080 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	439,548 株	24年3月期	439,497 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,593,568 株	24年3月期2Q	10,593,698 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報……3
２．サマリー情報（その他）に関する情報……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……3
３．四半期連結財務諸表……4
（１）四半期連結貸借対照表……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書……8
（４）継続企業の前提に関する注記……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかに回復が見られるものの、欧州の経済危機や長引く円高、電力供給に対する不安などから、先行きの不透明な状況が続きました。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、緩やかに個人消費に持ち直し感が見られるものの、消費者の節約志向や顧客確保のための企業間競争はますます激しくなるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。また、流通産業では、消費者の生活防衛意識が強まるなか、外食、中食、内食などの業種を越えた顧客獲得競争はますます激しくなりました。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・美味しい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、前年同時期の東日本大震災の影響による一時的な落ちこみから脱却し、外食産業における新規事業への参入や新業態への転換、改装による店舗への設備投資が徐々に増加してまいりました。また、高齢化を背景に着実に伸びている老健施設や宅配給食、病院給食向けの販売を強化したことやサービス付高齢者向け住宅が増加したことから、汎用業務用冷蔵庫や製氷機の売上が増加いたしました。さらに、病院や研究施設向けにメディカル機器の売上が増加したことや、食品工場向けのトンネルフリーザーの売上が好調に推移したことなどから、冷凍冷蔵庫販売の売上は増加いたしました。また、縦型冷蔵庫のフルモデルチェンジを行うとともに、省エネ節水型の小型製氷機を発売いたしました。さらに、８ 月にはメディカル機器の新ブランド「メディフリッジ」を立ち上げ、当社従来機よりも省エネで緻密な温度制御ができる新製品を市場投入いたしました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、都市部での買物の利便性を高める 50 坪程度の小型食品スーパーや地域の食を支える食品スーパーの新規出店が増加したことや節電志向がさらに浸透し、改装への設備投資が増加したことから、業界トップクラスの省エネ対応ショーケース（Send-you）と独自の省エネ制御システム（アクシア・エコ）の売上が増加いたしました。また、省エネ設備への投資に対する補助金制度の後押しもあり、削減した電気代で省エネ設備への投資が行えるＥＳＣＯ事業が着実に導入店舗を増やしました。また、インバータ冷凍機内蔵型ショーケース IM シリーズ（幅900ｍｍタイプ）を発売し、省エネ製品のラインアップを拡充いたしました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。また、節電を背景にコンデンサー洗浄により冷却能力を回復するメンテナンス需要が増加したことや ESCO 契約よる保守契約店舗の増加により、サービス販売の売上が増加いたしました。

設備工事では、オープンショーケースの売上増加に伴い、ショーケース関連の設備工事や大型冷蔵庫の売上が増加いたしました。

製造部門では、省エネに対する要望の高まりから、更なる省エネ製品の開発に注力してまいりました。また、滋賀工場では、生産性向上やライン増設を行い、需要増に対応するとともに、岡山工場でも生産性向上に取り組み、平準化生産による効率的な生産を行ってまいりました。さらに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによるコスト低減を行いました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は 233 億２千７百万円（前年同四半期比 16.5％増）、営業利益は 23 億５千８百万円（前年同四半期比 60.0％増）、経常利益は 24 億１千７百万円（前年同四半期比 59.5％増）、四半期純利益は 14 億７千８百万円（前年同四半期比 83.0％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は 394 億２百万円となり、前連結会計年度末に比べ 23 億円増加しております。

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は 277 億７千５百万円（前連結会計年度末は 254 億６千９百万円）となり、23 億６百万円増加しました。これは主として現金及び預金の増加並びに売上高の増加による受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

（固定資産）
当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は116億２千６百万円（前連結会計年度末は116億３千２百万円）となり、５百万円減少しました。これは主として投資その他の資産が減少したことによるものです。
（流動負債）
当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は154億８千６百万円（前連結会計年度末は142億５百万円）となり、12億８千１百万円増加しました。これは主として支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。
（固定負債）
当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は13億８千９百万円（前連結会計年度末は15億２千９百万円）となり、１億３千９百万円減少しました。これは主として長期借入金の減少によるものです。
（純資産）
当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は225億２千６百万円（前連結会計年度末は213億６千７百万円）となり、11億５千８百万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。
（キャッシュ・フローの状況）
当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を24億１千７百万円計上し、主に財務活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ９億１千７百万円増加し、121億４千１百万円となりました。
当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ･フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動の結果得られた資金は、18億１百万円（前年同四半期比８億９千２百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものです。
（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動の結果使用した資金は、１億８千９百万円（前年同四半期比13億４百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果使用した資金は、６億６千４百万円（前年同四半期比３億１千５百万円増）となりました。これは主に社債の償還及び長期借入金の返済による支出によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
平成24年５月11日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細については平成24年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（その他）に関する情報
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はございません。
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はございません。
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については､改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の売上総利益は3,334千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,766千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,500,677	12,344,503
受取手形及び売掛金	10,986,652	12,179,139
商品及び製品	1,014,963	1,195,323
仕掛品	599,945	530,234
原材料及び貯蔵品	1,090,550	1,150,805
その他	605,414	744,734
貸倒引当金	△328,792	△369,284
流動資産合計	25,469,410	27,775,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,555,479	2,527,498
土地	3,669,543	3,669,543
その他（純額）	791,936	902,460
有形固定資産合計	7,016,959	7,099,501
無形固定資産	97,583	104,497
投資その他の資産		
その他	4,578,341	4,479,248
貸倒引当金	△60,075	△56,281
投資その他の資産合計	4,518,266	4,422,966
固定資産合計	11,632,810	11,626,965
資産合計	37,102,221	39,402,421
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,119,973	11,024,765
短期借入金	355,973	363,100
未払法人税等	743,693	1,059,880
賞与引当金	670,952	920,592
製品保証引当金	208,545	180,156
その他	2,106,302	1,938,422
流動負債合計	14,205,441	15,486,917
固定負債		
長期借入金	411,827	329,541
退職給付引当金	665,644	615,794
役員退職慰労引当金	235,550	231,266
資産除去債務	95,549	96,022
その他	120,737	116,847
固定負債合計	1,529,308	1,389,472
負債合計	15,734,749	16,876,390

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	15,731,168	16,923,819
自己株式	△350,789	△350,851
株主資本合計	21,026,644	22,219,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,138	435,291
為替換算調整勘定	△242,107	△228,144
その他の包括利益累計額合計	238,031	207,146
少数株主持分	102,795	99,651
純資産合計	21,367,471	22,526,031
負債純資産合計	37,102,221	39,402,421

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	20,027,178	23,327,889
売上原価	15,383,091	17,411,497
売上総利益	4,644,087	5,916,392
販売費及び一般管理費	3,169,833	3,557,602
営業利益	1,474,253	2,358,789
営業外収益		
受取利息	3,580	4,001
受取配当金	22,151	23,148
受取家賃	47,293	44,810
受取補償金	5,326	8,973
その他	42,318	46,918
営業外収益合計	120,671	127,851
営業外費用		
支払利息	9,262	11,259
投資事業組合運用損	250	212
為替差損	55,286	40,136
支払補償費	8,376	9,815
その他	6,433	7,807
営業外費用合計	79,609	69,232
経常利益	1,515,315	2,417,409
特別損失		
投資有価証券評価損	48,757	－
特別損失合計	48,757	－
税金等調整前四半期純利益	1,466,557	2,417,409
法人税、住民税及び事業税	688,641	1,039,066
法人税等調整額	△22,313	△95,780
法人税等合計	666,327	943,286
少数株主損益調整前四半期純利益	800,230	1,474,123
少数株主損失（△）	△7,599	△4,553
四半期純利益	807,830	1,478,677

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	800,230	1,474,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,192	△44,847
為替換算調整勘定	2,224	15,372
その他の包括利益合計	64,417	△29,474
四半期包括利益	864,647	1,444,648
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,083	1,447,792
少数株主に係る四半期包括利益	△6,436	△3,143

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,466,557	2,417,409
減価償却費	351,595	268,790
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,617	33,332
賞与引当金の増減額（△は減少）	21,893	249,637
製品保証引当金の増減額（△は減少）	211	△28,389
退職給付引当金の増減額（△は減少）	31,688	△49,849
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9,060	△4,284
受取利息及び受取配当金	△25,732	△27,150
支払利息	9,262	11,259
為替差損益（△は益）	50,000	39,231
投資有価証券評価損益（△は益）	48,757	－
投資事業組合運用損益（△は益）	250	212
有形固定資産売却損益（△は益）	△42	131
有形固定資産除却損	2,059	220
売上債権の増減額（△は増加）	△1,125,212	△1,249,373
たな卸資産の増減額（△は増加）	△467,477	△162,687
その他の流動資産の増減額（△は増加）	11,442	△24,063
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△11,440	△9,645
仕入債務の増減額（△は減少）	1,312,544	870,165
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△9,189	152,412
その他	1,175	5,190
小計	1,680,022	2,492,551
利息及び配当金の受取額	25,678	27,406
利息の支払額	△9,225	△11,299
法人税等の支払額	△787,305	△707,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	909,169	1,801,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,130,042	△259,064
定期預金の払戻による収入	112,000	419,764
有形固定資産の取得による支出	△441,352	△289,120
有形固定資産の売却による収入	5,140	18
無形固定資産の取得による支出	△7,181	△14,353
投資有価証券の取得による支出	△34,011	△47,168
貸付金の回収による収入	1,050	750
従業員に対する貸付金の回収による収入	680	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,493,716	△189,046

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	8,881
長期借入れによる収入	－	100,000
長期借入金の返済による支出	△104,724	△186,886
社債の償還による支出	－	△300,000
自己株式の取得による支出	△109	△61
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,625	△1,291
配当金の支払額	△243,045	△285,566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△349,503	△664,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,120	△30,487
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△980,171	917,026
現金及び現金同等物の期首残高	11,416,482	11,224,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,436,311	12,141,402

（４）継続企業の前提に関する注記
当第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年９月 30 日）
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第２四半期連結累計期間（自　平成 24 年４月１日　至　平成 24 年９月 30 日）
該当事項はありません。